

大津市交通安全計画に基づく主な取組について

- 1 第1次計画期間の主な取組実績
- 2 大津市交通安全条例に基づき
継続する主な取組（案）

令和8年6月24日（水）
市民部 自治協働課

1 第11次計画期間の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(1) 道路の見通しの確保

①見通し確保のための市道整備

【概要】市道における交差点・横断歩道・屈曲部等における植栽等の撤去等

【参考】令和6年度施工 青山八丁目 青山中学校前
市道幹1104号線・東1868号線交差点

(施工前)



(施工後)



1 第11次計画期間の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(1) 道路の見通しの確保

①見通し確保のための市道整備（施工実績）

年度	施工箇所	路線名	施工内容
令和4年度	日吉台一丁目	市道中0159号線	街路樹撤去、張コンクリート
〃	計1件	事業費 計658,000円	
令和5年度	弥生町ほか	市道中1228号線ほか、交差点	支障木撤去、張コンクリート
〃	尾花川	市道幹1033号線	街路樹撤去
〃	月輪五丁目	市道幹1056号線、交差点	街路樹撤去
〃	計5件	事業費 計4,375,800円	
令和6年度	和邇中浜	県道高島大津線、市道幹1105号線、交差点	植込み伐採、張コンクリート
〃	本堅田五丁目	市道幹1014号線（堅田駅東口ロータリー）	街路樹撤去、張コンクリート
〃	青山八丁目	市道幹1104号線、市道東1868号線、交差点ほか	街路樹撤去、張コンクリートほか
〃	計24件	事業費 計22,383,160円	
令和7年度	小野	市道北6002号線	支障木撤去、張コンクリート
〃	御殿浜ほか	市道幹1052号線ほか	街路樹撤去、張コンクリート
〃	松陽三丁目	市道幹2146号線、交差点	支障木撤去、張コンクリート
〃	計16件	事業費 計16,137,000円	

※令和8年度以降も実施予定

【大津市の道路、施設の見通しの確保に係る設計・管理上の指針】等に基づき撤去等を実施
(令和7年4月に「大津市街路樹等管理ガイドライン」を策定)

1 第1次計画期間の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(1) 道路の見通しの確保

②見通しに配慮した市有施設の整備

【概要】公共施設の出入口付近における工作物の移設、植栽の撤去等

【参考】令和5年度施工 山中比叡平市民センター視距確保工事
掲示板、擁壁一部撤去、植栽撤去

(施工前)



(施工後)



1 第11次計画期間の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(1) 道路の見通しの確保

②見通しに配慮した市有施設の整備（施工実績）

年度	施工施設	施工内容
令和4年度	下阪本市民センター	入口前門柱の移設
〃	真野市民センター	入口周辺の植栽撤去
〃	真野北市民センター	入口周辺の看板等移設、植栽撤去
〃	瀬田南市民センター	入口周辺の花壇改修、樹木伐採
〃	瀬田北市民センター	入口周辺の擁壁改修、看板等移設、植栽撤去
〃	計5か所	事業費 計4,203,100円
令和5年度	仰木市民センター	入口周辺の掲示板、植栽及び樹木撤去
〃	仰木の里市民センター	入口周辺の看板、植栽及び樹木撤去
〃	山中比叡平市民センター	入口周辺の擁壁改修、掲示板及び植栽撤去
〃	唐崎市民センター	入口周辺の掲示板移設、植栽及び樹木撤去
〃	雄琴市民センター	入口周辺の擁壁改修、石碑移設、植栽選定
〃	計5か所	事業費 計3,774,100円

※市民センター入口周辺の見通し確保については令和5年度で必要な整備を完了

1 第11次計画期間の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(1) 道路の見通しの確保

③カーブミラー設置事業費補助

基金活用事業

【概要】道路管理者の設置対象とならない私道等の交差点等のカーブミラーを自治会が設置する場合、費用の一部を助成。

【助成額】補助率：1/2（上限50,000円）

【実績】	令和4年度	3自治会（3か所）	助成額	121,000円
	令和5年度	1自治会（1か所）	助成額	50,000円
	令和6年度	3自治会（3か所）	助成額	126,000円
	期間合計	7自治会（7か所）	助成額	297,000円

※令和6年度をもって当該補助事業を終了

④道路等の見通しを確保するための指針の周知

【目的】見通しに配慮した道路・市有施設の整備推進及び民間施設の取組推進

【主な項目】

- ・道路（植栽、街路樹、交差点の隅切、交通安全施設等）
- ・市有施設（出入口・門扉、門・柵・塀・植栽等）
- ・民間施設（市有施設に準じた取組の促進）

1 第1次計画期間の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(2) 自転車の安全利用

①大津市幼児2人同乗用電動自転車購入費助成

基金活用事業

【概要】高い安全性を備えた幼児2人同乗用電動自転車の購入費用の一部を助成し、自転車の安全利用を促進。

【助成額】 上限20,000円/件

【実績】	令和4年度	91件	助成額	1,820,000円
	令和5年度	129件	助成額	2,580,000円
	令和6年度	124件	助成額	2,480,000円
	令和7年度	103件	助成額	2,060,000円
	期間合計	447件	助成額	8,940,000円

※令和7年度をもって当該補助事業を終了

1 第1次計画期間の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

↓自転車乗り方教室の様子

(2) 自転車の安全利用

②自転車乗り方教室の開催

基金活用事業

【概要】子どもが自転車の運転技術と交通ルールを学ぶ機会を提供し、自転車事故の防止を図った。
4歳以上小学生以下の子どもが対象。



【実績】	令和4年度	26人参加（1日開催）	開催費	99,933円	ランチ大津京
	令和5年度	68人参加（3日開催）	開催費	690,000円	ランチ大津京
	令和6年度	103人参加（5日開催）	開催費	1,586,190円	ランチ大津京 & 滋賀ダイハツアリーナ
	令和7年度	61人参加（3日開催）	開催費	971,426円	ランチ大津京 & 滋賀ダイハツアリーナ
	期間合計	258人参加（12日開催）	開催費	3,347,549円	

1 第1次計画期間の主な取組実績 【市独自の視点に基づく施策】

(3) 歩きスマホの禁止啓発 基金活用事業

【概要】

歩きスマホに起因する事故等を未然に防止することを目的として啓発活動を実施。

令和6年度から1月の一週間を「歩きスマホ禁止ウィーク」として、
期間中は特に啓発活動を強化している。

【実績】

- ・ 啓発ポスターの公募・作成（R5）及び市内各所への掲出
（支所、中学校、高校、大学、京阪電車各駅及び車両内、JR各駅等）
- ・ 禁止啓発動画の作成（R5）、動画を活用した情報発信
（教育機関を通じて高校生及び大学生へ周知）
- ・ JR膳所駅・石山駅・堅田駅などでの歩きスマホ禁止街頭啓発（R4～R7）
- ・ 啓発チラシの配布



1 第11次計画期間の主な取組実績

(4) 高齢者の事故防止

① 高齢者運転免許証自主返納等促進助成事業

基金活用事業

【概要】

運転免許証を自主的に返納した75歳以上の高齢者に対し、令和6年度から公共交通機関等の利用に要する費用の一部を助成することで、高齢者の運転免許証の自主的な返納を促進し、高齢者による自動車の運転に伴う事故の防止を図った。

【助成内容】

- ① ICOCA等の購入又はチャージ費用（上限6,000円）の助成
- ② 公共交通共通乗車券6,000円分の交付
- ③ 自転車用ヘルメットの交付 ※③のみ、満65歳以上が対象

【実績】	令和6年度	637件（①440件、②94件、③103件）	事業経費	3,857,300円
	令和7年度	816件（①513件、②125件、③178件）	事業経費	4,414,898円
	期間合計	1,453件（①953件、②219件、③281件）	事業経費	8,272,198円

1 第11次計画期間の主な取組実績

(4) 高齢者の事故防止

②自動車後付け急発進等抑制装置設置助成制度

基金活用事業

【概要】

高齢者の方のペダル踏み間違いによる交通事故の防止と被害の軽減を図るために、65歳以上の高齢者が設置した自動車急発進等抑制装置設置費用の一部を助成。

【助成内容】

助成対象者が負担した助成対象経費に相当する額。助成金の限度額は次のとおり。

- ・障害物検知機能あり 20,000円
- ・障害物検知機能なし 15,000円

【実績】	令和4年度	3件	助成額	50,000円
	令和5年度	5件	助成額	90,000円
	令和6年度	10件	助成額	165,000円
	令和7年度	2件	助成額	30,000円
	期間合計	20件	助成額	335,000円

1 第11次計画期間の主な取組実績

(5) 交通安全フェア 基金活用事業

【概要】

子どもから高齢者まで、みんなが楽しみながら交通安全を学べる場を作り、もって市民の交通の安全に対する意識高揚を図ることを目的として、令和5年度より交通安全フェアを開催。

近年は秋の全国交通安全運動期間の開始時期に合わせて実施。

【内容】

交通安全功労者表彰、ゆるキャラと交通安全クイズ、ステージパフォーマンス、プチカンガルー教室、また、警察署や滋賀県、(公財)滋賀県交通安全協会等の協力により、パトカーや救急車など緊急車両の展示や交通安全VR体験など、交通安全を楽しく学ぶイベントを開催。

【実績】

令和5年度に大津市交通安全功労者表彰を創設。交通安全の推進に貢献し、その功績が顕著であった団体及び個人を表彰。

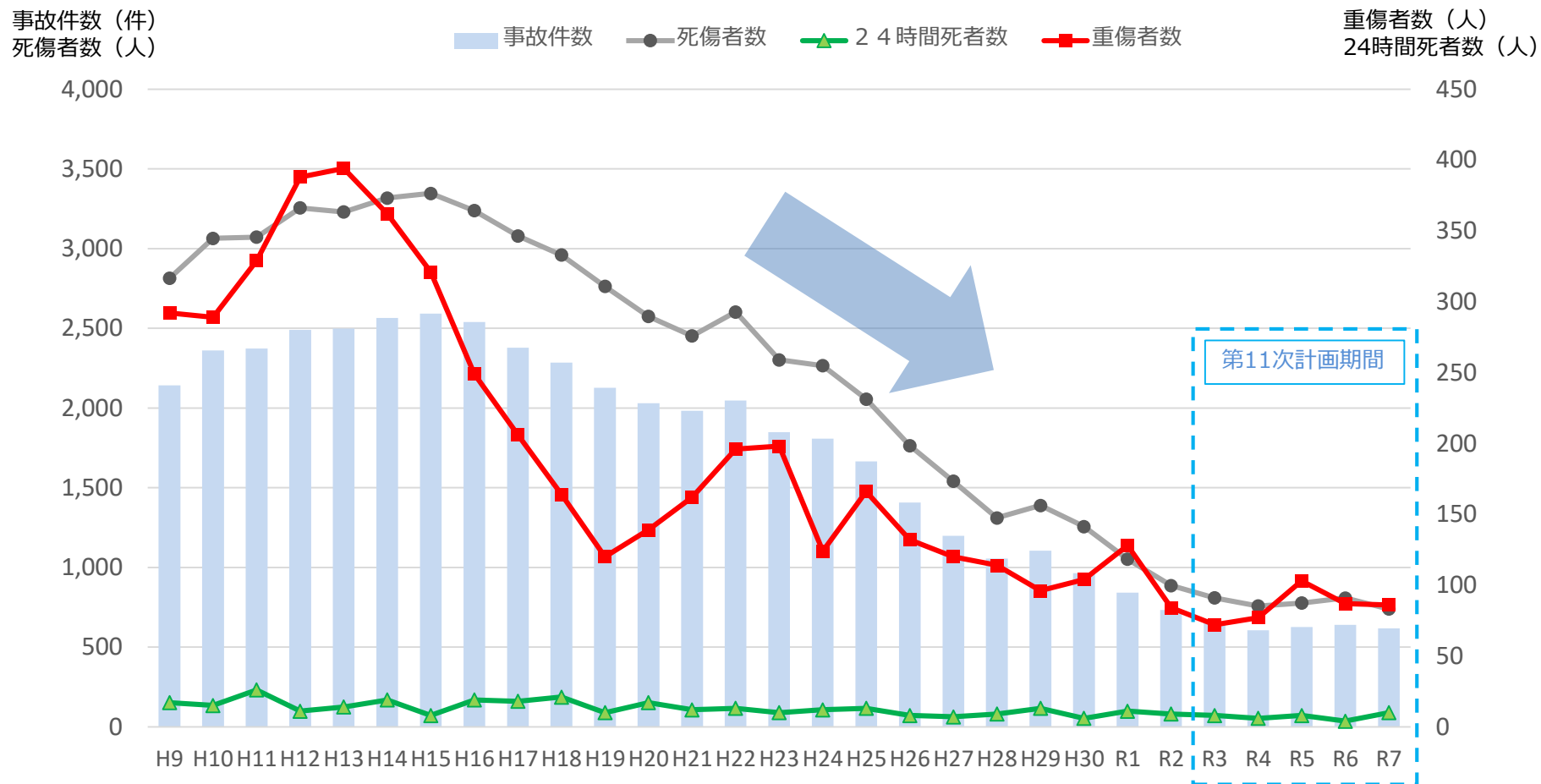
令和5年度から令和7年度までの間で個人4人、4団体を表彰。



↑交通安全功労者表彰の様子

第1 1次大津市交通安全計画の 主な取組に関連する交通事故の発生状況

【大津市における交通事故件数】



第1次大津市交通安全計画の 主な取組に関連する交通事故の発生状況

(1) 道路の見通しの確保

【大津市における道路形状別の交通事故件数】

各計画期間における交通事故のうち、交差点及び交差点付近の事故の件数は減少したが、割合はほぼ横ばいであった。交差点は交通事故発生リスクの高い危険箇所である。

第10次計画期間(H28~R2)

	計画期間合計	
	(件)	(%)
交差点	1,504	32.0
交差点付近	870	18.5
単路	2,080	44.3
踏切	2	0.0
その他	243	5.2
合計	4,699	100.0

計2,374件
50.5%

第11次計画期間(R3~R7)

	計画期間合計	
	(件)	(%)
交差点	1,109	35.3
交差点付近	535	17.0
単路	1,320	42.0
踏切	0	0.0
その他	181	5.8
合計	3,145	100.0

計1,644件
52.3%

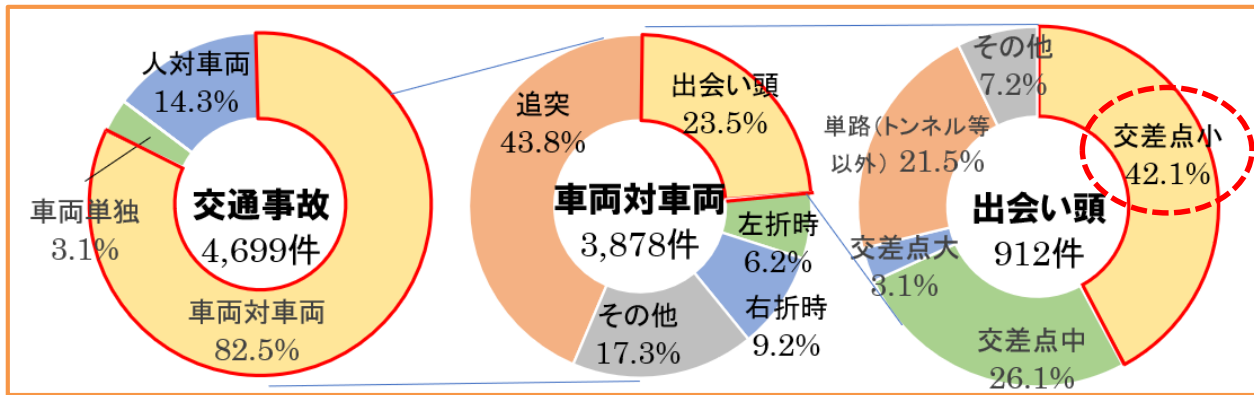
第1次大津市交通安全計画の 主な取組に関連する交通事故の発生状況

(1) 道路の見通しの確保

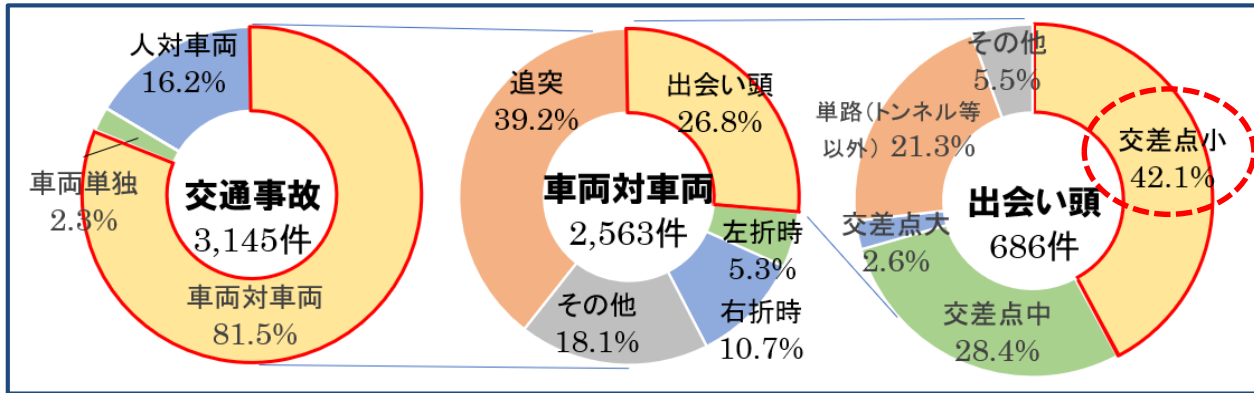
【大津市における事故類型別・道路形状別の交通事故件数の割合】

車道幅員（第1当事者側）
 交差点小：5.5m未満
 交差点中：5.5m以上13m未満
 交差点大：13m以上

第10次
計画期間
(H28～R2)



第11次
計画期間
(R3～R7)



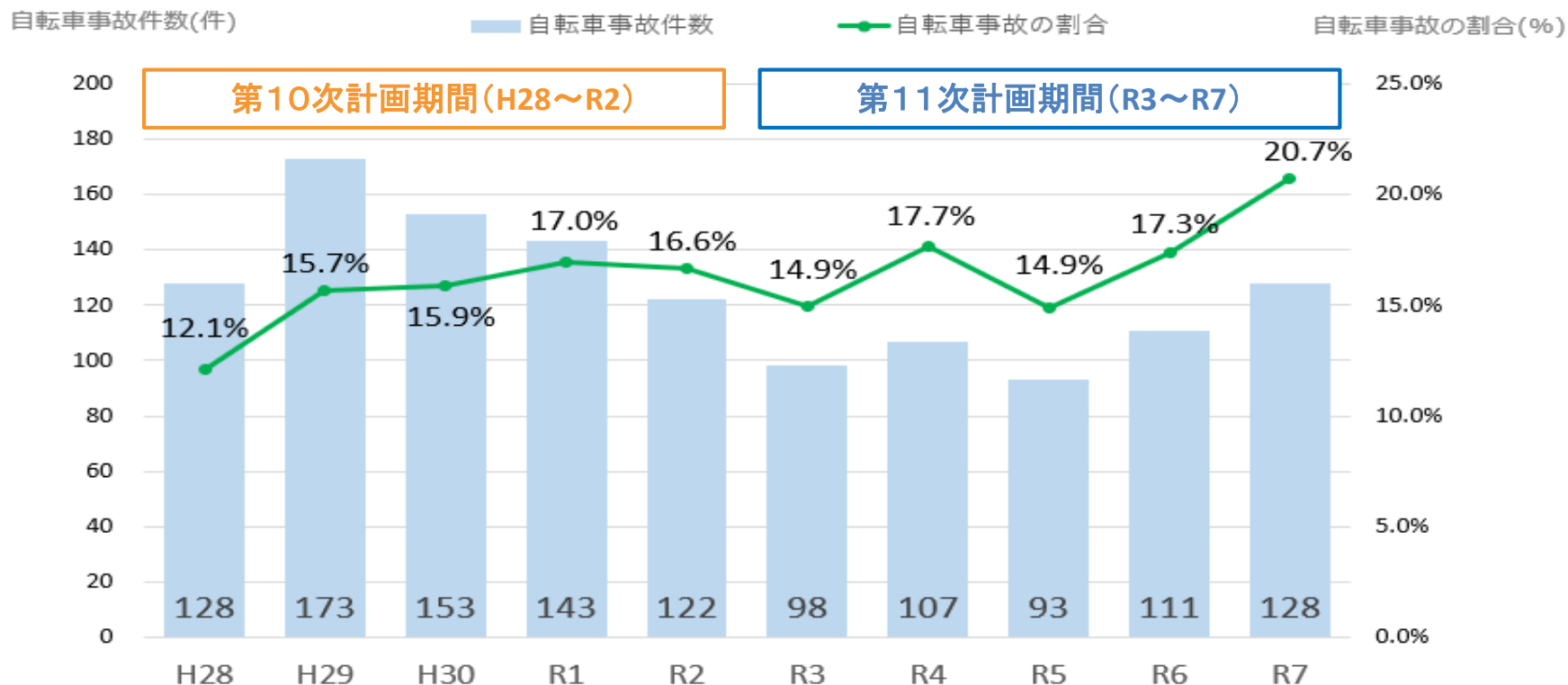
交差点小の
割合は
変わらず

第1 1次大津市交通安全計画の 主な取組に関連する交通事故の発生状況

(2) 自転車の安全利用

【大津市における自転車事故の件数】

第10次計画期間に比べると少ない件数となっているが、全事故に対する割合は近年やや高くなっている。自転車事故では、自転車側の交通ルール違反も多いため、特に子どもに対する安全教育が課題となる。

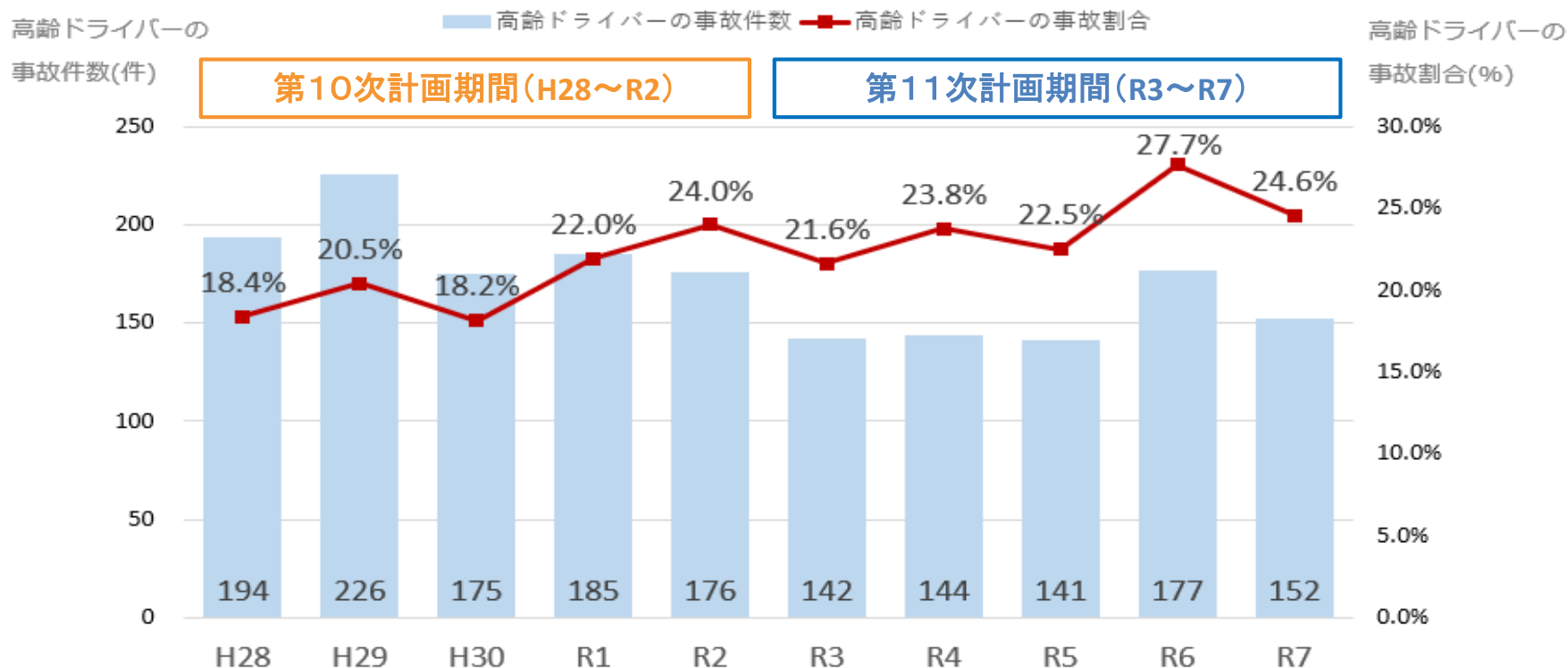


第1次大津市交通安全計画の 主な取組に関連する交通事故の発生状況

(3) 高齢者の事故防止

【大津市における高齢ドライバー（四輪、自動二輪及び一般原付）の事故件数】

第10次計画期間に比べると低い件数となっているが、全事故に対する割合は近年やや高くなっている。

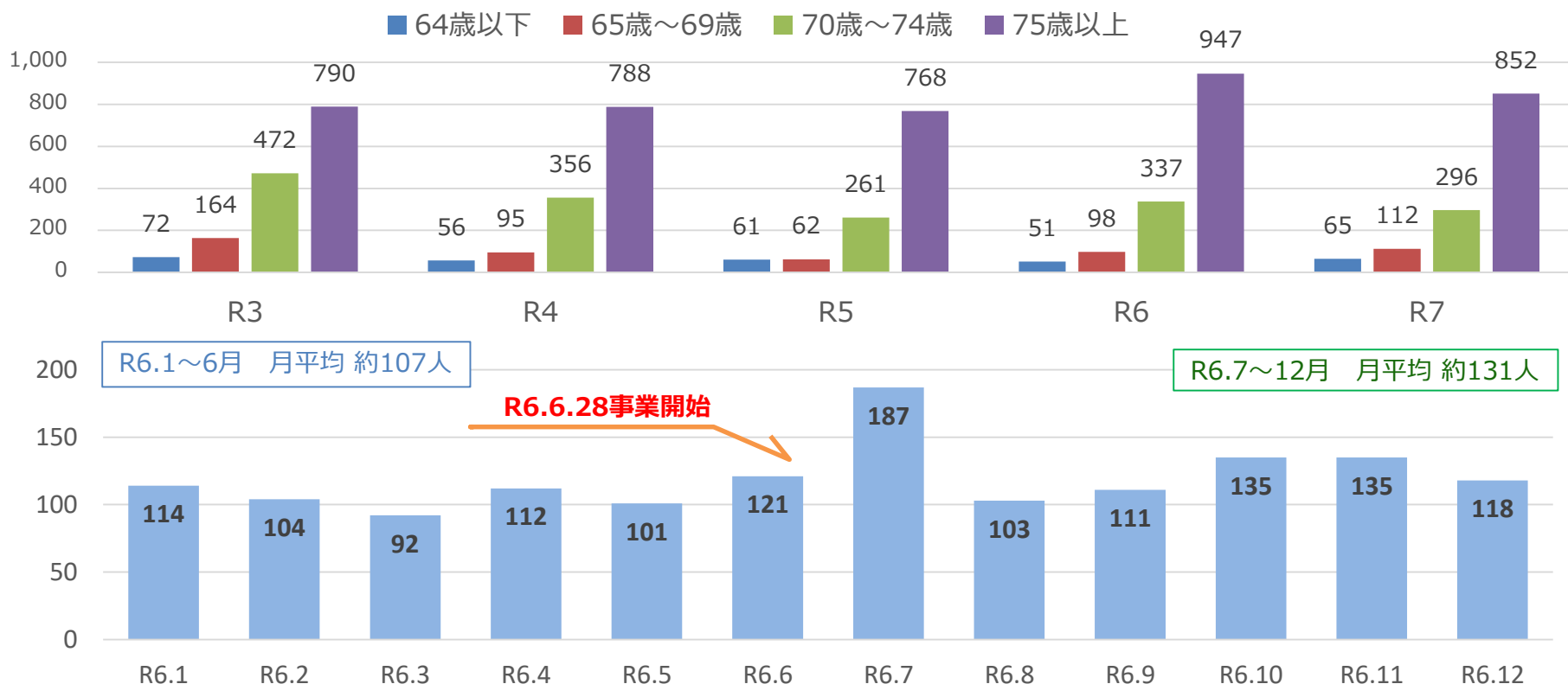


第1 1次大津市交通安全計画の 主な取組に関連するデータ

(4) その他

【大津市の運転免許証返納者数推移】

高齢者運転免許証自主返納等促進助成事業が開始した令和6年6月28日以降、免許証返納は増加している。今後、高齢者の運転免許保有者数は増加する見込みであるため、取組の継続が必要。



2 大津市交通安全条例に基づき 継続する主な取組（案）

No		取組	予算
第5条	道路を通行する者の責務	歩きスマホ禁止にかかる啓発	100千円
第8条	広報及び啓発	交通安全フェアの開催	1,956千円
		広報紙を活用した各種事業の周知	384千円
		啓発・教育資材の貸出事業	160千円
		地域への啓発用品支給事業	100千円
第10条	高齢者の事故防止	高齢者運転免許証自主返納等促進助成事業	6,240千円
		自動車後付け急発進等抑制装置設置助成制度	500千円
第11条	自転車による事故防止	子どもの自転車乗り方教室	1,004千円

基金活用事業

本市独自施策（見通し確保のための道路改良工事・道路等の見通しを確保するための指針の周知）も継続